

**学校教育目標 「つよいきずなで よさをのぼそう」**  
**重点目標 「すすんで やる子」**

## この一年大変お世話になりました

校長 望月 秀一

明日 20 日、6 年生が神戸小学校を巣立っていきます。

卒業式に向けて、歌声が学校中に響いています。悲しく、寂しい気持ちで聴いています。

6 年生は、学校のリーダーとして、集団登校や、縦割りグループリーダー、にここ活動、清掃活動、愛校奉仕作業等、全校児童の中心になって学校を盛り上げました。そのお手本になって活躍する姿は、在校生の憧れでした。1214 日に及ぶ小学校生活。様々なことがあったと思います。一番の思い出は何でしょうか。中学校での活躍を祈っています。

年が明けてからの日々の流れは、急に速くなったように感じました。そのような中で、1 年生と 3 年生は、『今宮なかよし会』の皆様のご協力を得て、学習を行いました。

1 年生は、「昔の遊び名人になろう」の学習で、あやとり、おはじき、お手玉、こま、けん玉、めんこなど、お年寄りとおふれあいながら遊びを教えていただき楽しい時間を過ごしました。2 回来校していただき、教えていただいた成果を発表する場があり、和やかな時間を共有することができました。また、「今の遊びと昔の遊び、どちらが楽しいか」と学習課題について熱心に話し合う姿が見られて、遊びを通して、自分の生活を見つめ直すことができました。



3 年生は、神戸地区の「昔のくらし」について、お年寄りに質問をしながら学習を深めていきました。当日は、軽トラック 2 台分の昔の農機具等を持ってきていただき、道具にふれたり、使い方を教わったりするなど、目を輝かせてお年寄りの話に真剣に聞き入る姿が印象に残っています。また、「今のくらしと昔のくらしは、どちらが幸せだろうか」と学習課題について話し合いました。大変な昔のくらしの中に先人たちの知恵や努力があり、その上に今の生活があり、幸せに暮らすことができていることを学びました。



これらの学びは、神戸地区で暮らしてきた人々の子どもたちへの思いが詰まっていて、本物の迫りに子どもたちは引き込まれていきました。今、高度情報化時代に暮らしていて、何でも簡単に情報が手に入る時代だからこそ、「ひとものこと」に直接ふれ、学ぶことに意義があると思います。人の温かさにふれた子どもたちはきっと神戸地区を愛し、地域の良さを受け継ぐ存在になっていくと思います。『今宮なかよし会』の高瀬清会長様からお手紙をいただきました。

「楽しい時間を一緒に過ごすことができ、子どもたちから元気もらいました。楽しく元気な神戸地区にしていきましょう。」今後、私たち学校がすすめる『地域とともにある学校』の姿があります。来年度はさらに地域の皆様方のお力添えをいただきながら、学校教育の充実のために取り組んでいきたいと思ひます。

明日、無事に修了式、卒業式を迎えられますのは、保護者の皆様をはじめ、地域の方々のご理解、ご協力があったのことに感謝しております。学校教育目標『つよいきずなで よさをのぼそう』重点目標『すすんで やる子』に向かい、日々の教育活動を行ってきました。目標に向かって努力する子どもたちは増え成長を感じます。来年度は、言葉を大切に、相手を思いやる心を育てながら、仲間とつながる楽しさや目標に向かってやり抜く力を育てていきたいと考えています。

学校に寄せられました、ご理解とご協力を改めて感謝するとともに、これからのご支援を重ねてお願いいたします。1 年間本当にありがとうございました。これからも「心豊かな神戸っ子」を目指して職員一同努力してまいります。